

# 協会だより



カタクリの花 小鹿野町

【平成26年度 全国統一防火標語】

**「もういいかい 火を消すまでは まあだだよ」**





# 新春を迎えて

秩父防火安全協会

会長 小池 文喜



秩父防火安全協会の会員事業所の皆様、あけましておめでとうございます。

今年は無（ひつじ）年ですが、昨年末の産経新聞に作家の曾野綾子さんが羊について書いたものが掲載されていました。羊という動物は従順で、自分の考えというものが何もない。群れの誰かが動くとみんなでそれについて行く。だから一頭の牧羊犬だけでたいそうな羊の群れを導くことができる。日本人には羊のように従順な人が多い。何の考えもなく羊の群れのようにマスコミや流行に振り回されるだけではいけない。という風なことが書いてありました。反面教師としての羊ということだと思いますが私も全く同感です。

一方テレビ番組ですが、所ジョージさんの「笑ってこらえてダーツの旅」で昨年度のチャンピオンを選ぶ総集編みたいなのをやっていましたが、日本中どこに行っても善良で正直でユーモアのある人ばかりで、つくづく日本はいいなと思いました。そのうちダーツの旅が秩父にも来るかもしれませんね。誰が「第一村人」として発見されるかわかりませんが、その時は秩父を代表してユーモアたっぷりの楽しい対応をして欲しいですね。

昨年は秩父地方には近來稀に見る大雪が降り被害に遭われた方も多かったと思います。また景気は業種による違いもありましたが、消費税増税に伴う駆け込み需要とその後の落ち込みなどもありなかなか大変な年でした。天気や景気の先行きはよくわかりませんが、今年も秩父地域がなるべく安全でありますようお祈りいたしております。会員の皆様におかれましては秩父防火安全協会の諸行事にも積極的に御参加いただき、御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。







## 年頭の挨拶

秩父消防本部

消防長 若林 利 忠



新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には2015年の輝かしい新年を、ご健勝でお迎えになられたこととお慶び申し上げます。今年は未（ひつじ）年、羊が仲良く群れをなしている様に、世界中の人々が仲良く平安に暮らせる年であることを心よりお祈り申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、2月の豪雪は、当秩父地域に甚大な被害をもたらすとともに、消防活動においても今後の豪雪対応等に対する大きな課題を残すこととなりました。

また、局地的な集中豪雨での土砂災害で、広島市を始め各地で多くの犠牲者を出しております。さらには、思いもよらぬ御嶽山の噴火により、多くの登山者が犠牲になったことは、皆様の記憶にも新しいと思います。

近年の自然災害の被害は大規模広域化しておりますが、東京湾付近を震源とする首都直下型地震をはじめとする巨大地震の発生も危惧されており、大災害がいつどこで発生するか予断を許さない状況です。

しかしながら、我々消防職員は最新の知識と技術を習得して、どんな災害にも対応する能力の向上を図らなければならないと考えておりますが、常備消防だけでは到底対応出来るものではありません。関係防災機関の協力を頂き、地域住民と連携し、力を合わせてこれらの災害に対応していくことが必要と考えます。

今年は、3月までに西分署の工事竣工、運用開始を予定しており、年度内に分署統廃合事業が完了します。西分署の運用により、秩父消防も1本部、1署、4分署の新体制となり、将来を見据えた救急業務の高度化、各種災害対応への対応強化等を進める一方、予防行政にも力を入れて、災害を未然に防ぐ活動を推進していかなければならないと考えております。

会員各事業所でも、個人はもちろん事業所全体で、絶対火災を出さない、災害を発生させない等の強い信念で災害予防にご協力を頂き、防災教育・防災訓練に積極的に取り組まれるようお願い申し上げます。そして、いざという時に地域の防災機関の一員としてご協力頂ければ、地域防災の輪が広がり、地域住民は心から安心して生活できることと思えます。

終わりに、秩父防火安全協会のご発展と、会員皆様が無災害で過ごされますようご祈念申し上げますとともに、会員皆様のご支援ご協力を心からお願い申し上げ年頭のご挨拶とさせていただきます。



## 事業について

### 平成26年度 会員県外視察研修に参加して

●平成26年10月29日(水) ●研修地 東京都 東京ガス供給指令センター

#### 県外視察研修に参加して

西武観光バス(株)秩父営業所 小澤 吉晴

昨年の10月29日、秩父防火安全協会視察研修に参加させて頂きました。

研修先である東京ガス本社に到着しました。非常時等の供給体制の説明ビデオを見学しました。東京ガスさんの日頃から安全に対する真剣な取り組みや、災害時に対する万全の備えを勉強させて頂きました。再度防火防災について再認識をしました。

今回初めての参加でしたが、防火安全協会の皆様や消防署との親睦も図れ楽しく研修を受ける事が出来ました。

最後になりましたが、会員の皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。



3列目左1人目 小澤さん、2列目左4人目三島木さん

#### 県外視察研修に参加して

(有)福島工作所 三島木 悦子

10月29日、初めて秩父防火安全協会視察研修会に参加いたしました。とっても寒い朝でした。参加される皆様が各場所から来られ、お顔を拝見して知っている方が多かったので安心そしてホット致しました。

築地で昼食をとり、今回研修施設の東京ガス供給指令センターに到着。都市ガスが私達のもとへ届くまでの説明の他、指令センターでは都市ガス製造量の調整とか、圧力の調整、需要量の変化によって製造量や供給量のバランスを的確に実施している旨説明を受けました。また私自身とっても不安に思っていた大地震が起きた時にガスはどうなるのだろう……でも心配無用でした。大地震発生時に備えた訓練を定期的に行っているとお話を聞き安心致しました。

その後、東京スカイツリー見学・私は2度目なのですが遠くから眺めるスカイツリーが大好きです。この研修に参加された皆様や消防署の方々との親睦が図れ、楽しい一日が過ごせました事感謝致します。



### 防火安全協会では会員様を募集しております!!

秩父防火安全協会は、秩父広域管内の事業所様と共に防火思想の普及を図り、会員相互の情報交換と融和を深め、さらに協会の発展を目指しております。ご入会されていない事業所様がございましたら、ぜひご紹介をお願いいたします。





## 甲種防火管理再講習会を開催しました。

秩父防火安全協会の主催により、甲種防火管理再講習会が平成27年2月6日(金)秩父消防本部において開催され27名が受講しました。受講対象者は、甲種防火管理者の資格を有し、不特定多数の人が出入りする300名以上を収容できる規模の大きな店舗やホテル・旅館等の防火管理者です。

この講習は、3年に1回の受講義務があり午後1時から午後4時まで、防火に関するカリキュラムを実施しました。

受講された皆様は、多くの方が訪れる施設等で防火管理者として、『安全』という大切な『おもてなし』を心掛け今後ともご活躍ください。お疲れ様でした。

## 『研修用視聴DVD』を購入しました。

『自然災害』を題材とした。研修用視聴DVDを購入しました。

近年、地球温暖化の影響と思われる自然災害が各地で多発しています。いつ遭うか分からない自然災害について少しでも多くの知識を身に着けもしもの時に備えることが大切です。会員の皆様の事業所における訓練時等にお役立てください。

なお、研修用視聴DVD等は、当協会にてDVD30本・VHSビデオテープ63本をご用意してあります。ご活用になる場合は消防本部予防課まで事前にご相談ください。



## 「秩父消防署西分署に掛け時計」を贈呈しました。

秩父消防署西分署の開署を記念して、当協会から「掛け時計」を贈呈しました。

秩父消防署では、平成18年度から平成26年度にかけ分署統廃合計画により既存分署を統廃合し新たに4分署を配置してきましたが、今回の西分署開設により計画は完了いたします。新たに配置した各分署には、今までの協会だよりで紹介させていただいたとおり当協会から記念の時計等を寄贈いたしました。





## 住宅用火災警報器設置広報を県下一斉に実施しました。

平成26年11月7日に、埼玉県下28消防(局)本部が県下一斉に住宅用火災警報器の設置促進のため広報を実施しました。

住宅用火災警報器の設置率は、平成25年6月に消防庁が実施し全国平均で79.8%となっていますが埼玉県では75.0%（全国35位）にとどまっているのが現状です。

このような現状を改善するため、消防職員と外郭団体の皆様の協力により埼玉県下一斉に駅頭などで住宅用火災警報器設置促進の広報を実施しました。

秩父消防本部では、秩父駅及び西武秩父駅の両駅頭で多くの方にリーフレット入りのポケットティッシュを配布し住宅用火災警報器設置の呼び掛け広報を実施しました。

火災予防条例で住宅用火災警報器の設置が義務付けられていますが、設置、維持管理は、各世帯が行うべきものです。住民の皆様にもそのことをしっかりと理解してもらう必要があります。今後とも未設置世帯の一日も早い設置に向けて、住民への周知のための広報を行っていきます。

家族の命を守る住宅用火災警報器を設置しましょう!!



## 『秩父広域消防出初式』が行われました。

新春恒例の秩父消防出初式が、平成27年1月6日(火)秩父消防本部において多くの来賓及び観客の皆様のご来場いただき盛大に行われました。

消防出初式は、消防職員の規律・部隊の錬度を確認することを主な目的とし、消防の仕事幅広くご理解いただくとともに地域住民の信頼の向上を目指し催しています。

当日は風もなく穏やかな青空の下、観閲、部隊点検に始まり、音楽隊の演奏のほか秩父篤組の皆様のご協力を得て木遣りの披露が実施されました。秩父地域のこの一年が、出初式当日の天候の様に平穏な一年であることを願い報告させていただきます。



## 消防車を配置

秩父消防本部では、平成26年度事業として、消防ポンプ車と山岳救助車の2台の車両更新を行いました。

消防ポンプ車は、今年度完成する西分署に配備されます。600リットルの水を積載し泡消火剤を素早く放射できる機能を持つ最新鋭の車両です。

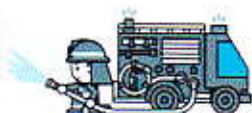
山岳救助車は、近年増加している山岳事故に対応するため不整地での踏破能力のある4WDワンボックスタイプです。昨年の豪雪のような異常気象時にもその能力を発揮することが期待されます。





# 平成26年 火災・救急・救助概要

## 火災件数



火災件数については、前年と比べ6件の減少です。建物火災の比率が昨年の36%から45%で全体の火災件数の減少に対し建物火災が増加しました。出火原因別では、たき火と放火が8件で最大の件数となっています。たき火が原因の火災件数が昨年は25件でしたが8件に減少しました。

市町別	区分	火災件数							死傷者		
		建物				林野	車両	その他	合計	死者	傷者
		全焼	半焼	部分焼	ほや						
株父市		9	2	3	6	2	2	17	41	2	5
横瀬町		2	0	1	1	1	2	2	9	0	2
皆野町		3	0	0	0	2	0	1	6	0	5
長瀬町		0	0	1	0	1	0	2	4	0	0
小鹿野町		0	0	0	1	1	0	2	4	0	1
計		14	2	5	8	7	4	24	64	2	13

## 救助発生件数



救助出場件数については、前年と比べ17件の増加です。山岳事故が全体の31%、次いで交通事故が28%です。両事故種別を合算すると全体の58%となります。広い山岳地域を管轄する消防署の大きな特徴のようです。

市町別	区分	発生件数	事故種別											
			火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械による事故	建物等に	力欠及	破裂事故	その他の事故			
											その他	山岳		
株父市		58	2	14		3	1	2				36	17	19
横瀬町		14		6	2	2	1					3	2	1
皆野町		14		7	4	1						2	1	1
長瀬町		14		3	6				1			4	2	2
小鹿野町		20		3								17	3	14
計		120	2	33	12	6	2	2	1	0	62	25	37	

## 救急出場件数



救急出場件数については、前年と比べ26件の減少です。急病が全体の58%を占め、次いで一般負傷14%、転院搬送が12%となっています。

市町別	区分	出場件数	不搬送件数	搬送人員	事故種別													ドクターヘリ要請	
					火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				
															転院搬送	医師搬送	資器材等		その他
株父市		3,004	199	2,840	3			279	26	15	422	24	37	1,752	426		1	19	49
横瀬町		379	29	360	3	1	4	63	9		58	1	3	230	3			4	8
皆野町		560	34	530	5		3	47	4	2	72	1	2	281	140	2		1	14
長瀬町		315	35	289			7	35	2	2	51	1	23	184	10				6
小鹿野町		618	57	563				55	7	5	88	2	9	408	38			6	13
その他		4		4				3					1						
計		4,880	354	4,586	11	1	14	482	48	24	691	30	74	2,855	617	2	1	30	90



# お知らせ

## 平成27年 春の火災予防運動実施

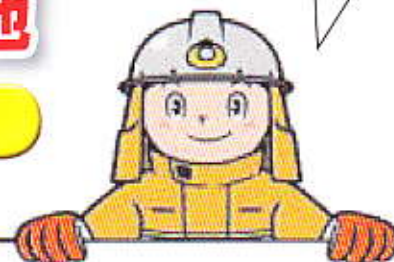
平成27年3月1日(日)～3月7日(土)

平成27年 春の火災予防を実施します。

この運動は、火災が発生し易い時期を迎えるに当たり、火災予防を一般住民や事業者等に啓発し、火災の発生を防止することを目的に実施します。

この機会に、職場や家庭で火災予防について話し合うことも大切であると思います。

火災予防運動  
実施中です!!  
ご協力ください。



火災予防運動実施中

3月1日～3月7日

秩父防火安全協会  
秩父消防本部・署

### 甲種防火管理新規講習の実施について

平成27年度も昨年と同様、甲種防火管理新規講習を秩父消防本部において、6月中旬(2日間)に開催する予定です。

なお、案内通知は5月配布予定です。詳細にあっては秩父消防本部ホームページに4月以降掲載します。ご不明な点は秩父消防本部予防課までお問い合わせ下さい。

秩父消防本部 予防課 Tel 0494-21-0121

ホームページ <http://www.chichibu.ne.jp/cfd>

### 危険物取扱者試験・消防設備士試験

平成27年度の危険物取扱者試験日程・会場は(平成27年2月現在)未定となっております。3月中には日程等が決まるとのことです。詳しくは(財)消防試験研究センター埼玉県支部又は秩父消防本部予防課までお問い合わせ下さい。

(財)消防試験研究センター埼玉県支部 Tel 048-832-0747

ホームページ <http://www.shoubo-shiken.or.jp>

### 編集後記

平成26年度も、残るところ僅かになりました。会員の皆様には、協会の諸行事に対し深いご理解ご協力をいただき無事に一年を終えることができそうです。

歳を重ねるごとに一年が過ぎて行く感覚が速くなるのは誰しもが感じることであると思います。「24時間割る年齢が一日の濃さ。」であると言われます。歳を重ねるごとに一日が速く過ぎて行く所以でもあるでしょう。言い換えれば、気持ちにおける若さを保てば、充実した密度の濃い時間が過ごせるのかもしれない。新しい年度を充実した一年とするためにも、心の若さを保ちたいものです。

